

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年1月22日

NO.23

## 明日23日(土)は学校公開！昔遊びも子供達と一緒に楽しんで！

明日23日の3時間目に、「お正月遊び」が全校で一斉に行われます。こま・けん玉・だるまおとし・百人一首・かるた・すごろくなど、いろいろと楽しく遊べるように計画されています。保護者・地域の皆さまも子供達と一緒に楽しんでもらえれば嬉しく思います。

そこで、こんな機会なので、昔遊びについての雑感を記してみたいと思います。まず、昔遊びの道具には木工作のものが多く見られる特徴があります。木のおもちゃというのはどこか温かみがあり、癒される感じがします。木の感触を味わいながら、遊びに夢中になるのもいいかもしれません。次に、昔遊びというところからローテク（ハイテクの対義語）な感じがしますが、その中にはかなり科学性に富んだ面白く興味深い部分もあるのではないかと考えます。こまやけん玉、だるまおとしなど、遊びを通して力学の原理や重心や回転体の性質、てこの原理などを知らず知らずのうちに学ぶことができます。さらに、手先の器用さの習得や、体の使い方や力の入れ具合・加減なども、自然と身についてくるのではないのでしょうか。昔遊びを通して子供達は、様々な科学の学びの世界も楽しめ、能力開発できるということはとても素晴らしい事だと思えます。

また、かるたやすごろく、百人一首などの遊びについて考えてみると、どれも一人ではできないものばかりです。友達と一緒にわいわいがやがやと楽しむものです。時には言い争ったりしても、人と仲良くすることの大切さや、コミュニケーション能力・社会性も身に付けていくことができます。百人一首などは、肉声で読み上げることにより、歌そのものを味わいながら競技性も楽しむことができます。その中で集中力や言葉に対する感覚も研ぎ澄まされることでしょう。何といたっても時空を超え、古人(いにしえびと)の熱き願いに共感し、思いを馳せるのも楽しいものだと感じています。

ハイテクゲーム全盛の昨今ですが、昔からの伝承遊びに夢中になるのも、とても意味のあることだと思います。是非、短い時間ですがお子様と一緒にお正月遊びをたくさん楽しんで下さい。

## 学校公開・書き初め展示と一緒に、写真展も開催中です



上記の写真は、下谷保町会老人会会長の平石春夫さんが撮影されたもので、それぞれ昇降口近くに展示されております。また、学芸会の写真は職員室前にもあります。いずれも平石さんのご好意により学校に寄贈されているものです。平石さんは、アマチュア写真家であり、様々なコンテストにも出品されているようで、確かな写真技術とシャープな激写ぶりには感服しております。子供達の生き生きとした学校生活の様子がよくわかる作品ばかりなので、書き初め展と一緒にご覧いただけたらと思います。

なお、写真販売はいたしません。この写真は学校に頂いたものなので、写真取得をご希望される方には自由に配布しても結構との了解も得ております。そこで、3学期末の保護者会期間中に会議室などに再展示します。保管するにも限度がありますので、写真が欲しい方には差し上げる予定です(希望者多数の場合は抽選)。詳細については後日校長室だよりにてお知らせいたします。